

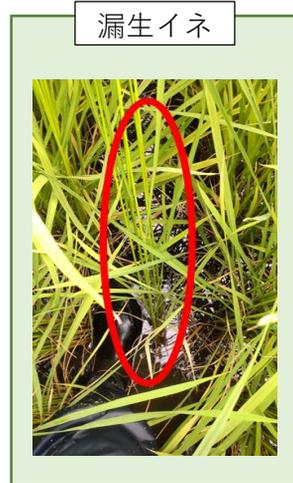
# 雑草イネ・漏生イネの防除方法（来年の作付けに向けて）

令和6年9月4日

茨城県県南農林事務所 稲敷地域農業改良普及センター

赤米など由来不明の「雑草イネ」の発生が、県内各地の水田で問題となっています。また、令和6年は、前作品種のこぼれ粳から生える「漏生イネ」の発生が、管内の水田で多く見受けられました。これらのイネ由来の米が主食用米に混入すると、商品価値を著しく低下させます。

雑草イネ・漏生イネが発生したほ場では、来年の作付けに向けて以下の対策を徹底しましょう。



<https://japr.viewer.kintoneapp.com/public/file/inline/31fbbb2ea8d356ea274bc037afee4267cf4a8675ee2dee10824c7b075f404a40/202402070928521A58A95823674AE3B897425A8CCE7D63334https>

「雑草イネ有効剤として実用化可能と判定された水稲用除草剤」（植調協会）



[https://www.naro.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/129066.html#:~:text=%E6%9C%AC%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB](https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/129066.html#:~:text=%E6%9C%AC%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB)

「雑草イネ・漏生イネ防除技術マニュアル」（農研機構）

## ○石灰窒素

秋耕前に50～70kg/10a散布し、地表面の雑草イネ・漏生イネ種子を死滅させます。

### 【ポイント】

- ・ 散布後3週間以上経過してから耕起します。適度な土壤水分状態での実施が効果的です。
- ・ 地力の高い圃場や倒伏しやすい圃場で施用する場合は、基肥を減肥します。

## ○耕起

秋耕：10月上旬、11月上旬の収穫直後（ひこばえの発生前）に実施します。

春耕：翌年3月に実施→雑草イネの出芽を促進し、その後の除草効果が向上します。

## ○遅植え

雑草イネの出芽盛期（4月下旬～5月中旬）に雑草イネを防除してから移植すると効果的です。

※適期より遅すぎると、減収につながる所以注意が必要です。

栽培イネの品種特性、用水確保等、いつまで移植を遅らせられるか検討が必要です。

## ○丁寧な浅水代掻き

雑草イネの出芽盛期（4月下旬～5月中旬）を経過後、浅水で丁寧に2行程以上実施し、代かきから3日以内に移植します。

※深水状態の代かきでは、引き抜かれた雑草イネが浮遊後、土壤に再定着するので注意しましょう。

## ○体系防除

雑草イネに効果のある除草剤での体系防除が有効です。

→移植日と同日の「初期剤」施用、移植後5～7日目の「一発処理剤」施用、

さらに移植後14日目の「中期剤」施用が効果的です。

## ○手取り除草

手取り除草は、雑草イネの出穂後速やかに、株ごと抜き取ります。

※出穂後10日以降は脱粒し始めるため、脱粒する前に抜き取るようにしましょう。

| 月   | 旬 | 雑草イネの生態 | 防除手順  |  |
|-----|---|---------|---|--|
|     |   |         | 作業内容  | 作業目的   |
| 10月 | 上 |         | 秋耕  | ひこばえ発生防止   |
|     | 中 |         |   |  |
|     | 下 |         |   |  |
| 11月 | 上 |         | 秋耕  | ひこばえ発生防止   |
|     | 中 |         |   |  |
|     | 下 |         |   |  |
| 12月 |   |         | 石灰窒素を施用した場合は、3週間後に秋耕  |  |
| 1月  |   |         |   |  |
| 2月  |   |         |   |  |
| 3月  | 上 |         |   |  |
|     | 中 |         | 春耕  | 雑草イネの出芽を促進   |
|     | 下 |         |   |  |
| 4月  | 上 |         |   |  |
|     | 中 |         |   |  |
|     | 下 |         |   |  |
| 5月  | 上 | 出芽      |   |  |
|     | 中 |         |   |  |
|     | 下 |         | 丁寧に代掻き<br>実施後3日以内に移植  |  |
| 6月  | 上 |         |   | 効果のある除草剤による体系防除<br>「初期剤」 移植同日処理<br>「一発処理剤」 移植後5～7日目<br>「中期剤」 移植後14日目 |
|     | 中 |         |   |  |
|     | 下 |         |   |  |
| 7月  | 上 |         |   |  |
|     | 中 | 出穂      | 脱粒性が高いため<br>出穂後10日以内に手取り除草<br>↓<br>抜き取った雑草イネは必ず<br>ほ場外に持ち出し焼却処分 |  |
|     | 下 |         |   |  |
| 上   |   |         |   |  |
| 8月  | 中 |         |   |  |
|     | 下 |         |   |  |

### 除草剤処理の注意点

除草剤処理時は十分に湛水し、次の除草剤施用までの5～7日間は、処理層を保持するために入水を避ける。ただし減水が大きく、数日で田面が露出する水田は、静かに少しずつ入水し、田面の露出を避ける。(右図参照→)

